

令和3年度第2回浜田市保健医療福祉協議会 議事録

令和4年1月20日（木）、新型コロナウイルス感染症の市内の感染状況を踏まえ、浜田市保健医療福祉協議会（以下「協議会」という。）会長及び副会長と協議のうえ、対面による会議の開催を中止とし、委員の全員に通知書を発したところ、委員の全員から異議はなかったもの。

令和4年2月1日、協議会の事務局である浜田市地域福祉課が、委員の全員に対して協議会への審議及び報告事項について、下記の内容の依頼書を発し、委員から意見の提出を求め、回答を行った。

提出された意見及びその回答事項を明確にするため、本議事録を作成する。

記

1 審議及び報告事項の内容

(1) 審議事項

浜田市再犯防止推進計画（案）について

(2) 報告事項

ア 浜田市地域包括支援センターの業務委託について

イ 新型コロナウイルスワクチン接種状況について

ウ 休日応急診療所及び病児・病後児保育室の開設について

エ 令和4年度浜田市子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の連携体制（案）について

2 意見提出期限

令和4年2月15日（火）

3 意見提出数

(1) 審議事項

4名（20名中）

(2) 報告事項

2名（20名中）

4 審議及び報告事項の意見並びに市の回答

(1) 審議事項について

1	意見	計画を策定するにあたり、市民アンケート調査を行うとともに考察内容を計画書に盛り込むことは、有意義であり、計画に厚みがみられると考える。
---	----	---

	回答	全国的にも大学と連携した計画策定はないと伺っており、地域色を反映した計画と考えております。
2	意見	計画書 17 頁の「少年補導員」の字句修正をお願いしたい。（島根県では、「少年補導委員」という名称を使用のため。）
	回答	修正を行います。
3	意見	「刑法犯検挙者中の再犯者数及び再犯者率：浜田市」のグラフの R1 の再犯者数と再犯者率の数字が重なって見えにくい。
	回答	修正を行います。
4	意見	市民アンケートの考察は、回収された結果で行われているが、50%以上が回答していないことも含めて考察をする必要があると思う。
	回答	アンケート実施における書面方式は、一般的には回収率が低位になる傾向があります。回収目標数 400（回収率 35%程度）とし実施しましたので、想定より回収率は高いものでした。また、市が実施している福祉関連計画のアンケート回収率と比べ、大きく遜色するものではないと考えております。 考察記載につきまして、得られた内容をどのように計画に反映しているかに着目しておりますので、内部考察を計画に記載していない点について、ご理解いただきたく存じます。
5	意見	再犯ではないが、「ケーキの切れない非行少年たち」という本があり、それでは認知のゆがみから犯罪に向かうことが多々あるように述べてある。 認知に問題を抱えている子を把握することも犯罪防止の面から大切にしたらよいのではないかと。
	回答	明らかな知的障がいではないものの状況によっては支援が必要とされる、境界知能と認識されている問題への提議と存じます。子どもの頃から生きづらさを持っていたにもかかわらず、気づかれることなく支援に繋がらず、仕事が続かなかったり、引きこもったり、犯罪に手を染めてしまう場合があると考えております。 ご意見のとおり、必要な支援に繋げる視点を持って、取り組みを行ってまいります。

(2) 報告事項について

1	意見	子育て世代包括支援センターにつきましては、地域全体で子育てを支えるネットワークづくりの拠点となり、ひとりひとりを丁寧に支えていただけることを期待する。
	回答	拠点施設として、関係機関と連携しながら、切れ目なく丁寧に支える子育て支援に取り組んでまいります。

2	意見 1	地域包括支援センターの浜田市社会福祉協議会への業務委託にあたっては、今後とも運営状況をしっかり把握して、運営面で困っていることを支援するなど、しっかり支えていただきたいと思います。
	意見 2	<p>社協がこの度の地域包括支援センター運営業務を担う動きは、全国的にも始まっており、浜田市もそうせざるを得なかったのが実情だと思われる。センター業務には、専門職員の配置は最低条件で、地域住民の課題を聴き出す行動力と、人間性が求められる。</p> <p>まちづくりに必要な組織・人材と住民に認知され、協働のまちづくり、共生社会の実現を達成することを社協には実践していただきたい。</p>
	回答	業務委託後においても、引き続き浜田市社会福祉協議会と情報交換・共有を行い、連携をしていくことで、運営に対する懸念や課題を解決してまいります。

令和4年2月18日
議事録作成
浜田市地域福祉課